

NPO法人地学オリンピック日本委員会の沿革

2013年1月 初版作成

2023年12月 改訂版作成

年	オリンピック委員会	国内・国際大会	日本主催大会関連／国際大会結果	その他
2006年 (平成18年)	11月8日 科学技術振興機構で地学オリンピック参加の可能性打診			
2007年 (平成19年)	2月1日 国際地学オリンピック対策暫定委員会(JpGU) 2月22日 第1回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU) 3月23日 第2回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU) 3月 国際科学技術コンテスト支援事業新規公募支援調(JpGU)書提出 4月25日 第3回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU) 6月25日 第4回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU) 9月14日 第5回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU) 10月31日 第6回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU) 12月14日 第7回国際地学オリンピック(小)委員会(JpGU)：日本委員会設立の決定	4月12日13日 第1回国際地学オリンピック(IESO)韓国大会予備会議(朝鮮大学；杭州) 10月7日-15日 第1回国際地学オリンピック韓国大会 日本はオブザーバー6人(教員・研究者)のみ参加		07/16：新潟県中越沖地震(M6.8)、死者15
2008年 (平成20年)	1月26日 国際地学オリンピック日本委員会準備会 2月6日 科学技術振興機構へH20-24年度予算申請書提出(法人が前提なので、H20年度中にNPO法人申請予定)	3月16日 一次選抜 5月31日 二次選抜 東京大学 8月31日9月1日 国内研修 神奈川県立生命の星地球博物館		11月広報紙「Chiorin!」発行開始 6/14：岩手・宮城内陸地震

年	オリンピック委員会	国内・国際大会	日本主催大会関連／国際大会結果	その他
	3月 国際地学オリンピック日本委員会設立 (委員長 濱野洋三) 4月19日 第1回国際地学オリンピック運営委員会	9月1日-9月8日 <u>第2回国際地学オリンピック</u> <u>フィリピン大会</u> 12月21日 第1回日本地学オリンピック 筆記	6か国・地域24名参加 日本の成績：銀3、銅1	(M7.2)、死者17、行不6
2009年 (平成21年)	2月25日 特定非営利法人地学オリンピック日本委員会登記完了 (2008年11月東京都申請) (理事長第1期 濱野洋三)	3月29日 第1回日本地学オリンピック 実技と面接 東京大学 6月22日-24日 第3回国際地学オリンピック台湾大会予備会議 (久田健一郎) 9月14日-22日 <u>第3回国際地学オリンピック台湾大会</u> 12月20日 第2回日本地学オリンピック 筆記	14か国・地域50名参加 日本の成績：銀4	5月 Chiorin!2号 発行 以降、年2回 (5月～7月と11月～12月) 発行
2010年 (平成22年)	5月15日 社員総会	3月24日-26日 今回より、本選(2次予選)を「グランプリ地球にわくわく」として筑波研究学園都市にて開催。講演会「とっぷ・レクチャー」や研究所見学等も実施。 6月24日25日 第4回国際地学オリンピック インドネシア大会予備会議 (久田健一郎) 8月17日-20日 清里・箱根・三浦半島にて研修 9月19日-28日 <u>第4回国際地学オリンピック</u> <u>インドネシア大会</u> 12月19日 第3回日本地学オリンピック 予選	3月25日 理事会にて2012年国際地学オリンピック日本大会開催正式決定 17か国・地域63名参加 日本の成績：金1、銀3 6月21日顧問会議開催	2月15日 日本地質学会地学オリンピック支援委員会設立
2011年 (平成23年)	(理事長第2期 濱野洋三) 10月 日本科学オリンピック推進委員会に正式加盟	3月24日-26日 グランプリ地球にわくわく (3.11大震災のため中止) 6月11日12日 東京大学試験会場にて本選 7月7日-9日 第5回国際地学オリンピック イタリア大会予備会議参加 8月16日-19日 国内研修 神奈川県立生命の星地球博物館ほか 9月5日-14日 <u>第5回国際地学オリンピック</u> <u>イタリア大会</u> 12月18日 第4回日本地学オリンピック 予選	4月 国際地学オリンピック日本大会中止の方針決定 6月12日 総会にて中止正式決定 9月 三重県庁より国際大会開催の打診 26か国・地域104名参加 日本の成績：金1、銀2、銅1	2012年大会のホスト国辞退、2016年開催を検討 IESO初の100人越え 3/11 東日本大震災、死者15,900、行不

年	オリンピック委員会	国内・国際大会	日本主催大会関連／国際大会結果	その他
				2532 (2023 年 3 月時点)
2012 年 (平成 24 年)	1 月 5 日 理事会 日本科学オリンピック推進委員会に正式加盟	3 月 25 日-27 日 グランプリ地球にわくわく 試験会場筑波大学 7 月 小・中学生自由研究コンテスト募集 6 月・8 月：合宿研修 (つくば・箱根) 10 月 7 日-13 日 <u>第 6 回国際地学オリンピック アルゼンチン大会</u> 12 月 16 日 第 5 回日本地学オリンピック 予選	1 月 三重大学に協力要請 3 月 開催を決定 5 月 社員総会にて、正式決定 17 か国・地域 66 名参加 日本の成績：金 1、銀 3 10 月 三重県庁にてプレス報道 12 月 三重県庁、三重大学との個別協議開始	6 月 事務局移転
2013 年 (平成 25 年)	1 月 5 日 理事会 5 月 19 日 社員総会 (理事長第 3 期 久田健一郎)	2 月 21 日 自由研究コンテスト審査会 3 月 24 日-26 日 グランプリ地球にわくわく 筑波研修センター試験会場 (60 名) 5 月 11 日 12 日 最終選抜 筑波大学 (10 名) 8 月-10 月 小・中学生自由研究コンテスト募集 8 月 合宿研修 (しんかい 6500 見学等) 9 月 11 日-19 日 <u>第 7 回国際地学オリンピック インド大会</u> 12 月 15 日 第 6 回日本地学オリンピック予選	6 月 8 日 2016 国際地学オリンピック日本大会組織委員会発会式 東京大学 23 か国・地域 90 名参加 日本の成績：金 1、銀 3	今回より代表選抜を本選と別に実施 予選参加者、初の 1000 名越え
2014 年 (平成 26 年)	(理事長第 4 期 久田健一郎)	3 月 24 日-25 日 グランプリ地球にわくわく 筑波研修センター試験会場 (60 名) 3 月 25・26 日 代表選抜 (筑波研修センター) 6 月・8 月 合宿研修 (秩父・筑波大学) 8 月-10 月 小・中学生自由研究コンテスト募集 9 月 22 日-28 日 <u>第 8 回国際地学オリンピック スペイン大会</u> 12 月 21 日 第 7 回日本地学オリンピック予選	21 か国・地域 82 名参加 日本の成績：金 3、銅 1	代表選抜を本選直後に実施へ 「未来ガイド」発行開始。予選参加者に配布 7/30～8/26：平成 26 年 8 月豪雨、死者 77 9/27：御嶽山噴火、死者 58、行不 5

年	オリンピック委員会	国内・国際大会	日本主催大会関連／国際大会結果	その他
2015年 (平成 27年)	(理事長第4期 久田健一郎)	3月15日-17日 本選 5月・8月 合宿研修 (秩父・筑波大学) 8月-10月 小・中学生自由研究コンテスト募集 (今回にて終了、4年間実施) 9月13日-20日 <u>第9回国際地学オリンピック ブラジル大会</u> 12月20日 第8回日本地学オリンピック予選	22か国・地域 85名参加 日本の成績：金1、銀1、銅2	表彰式会場、つくばカピオに
2016年 (平成 28日年)	理事長：久田健一郎	3月13日-15日 本選 3月15日・16日 代表選抜 5月・8月 合宿研修 (秩父・筑波大学) 8月20日-27日 <u>第10回国際地学オリンピック 日本大会 (三重)</u> 12月18日 第9回日本地学オリンピック予選	26か国・地域 100名参加 日本の成績：金3、銀1 (ゲスト生徒5名も参加)	講演会会場、筑波銀行大会議室に 4/14：熊本地震 (M7.3)、死者211
2017年 (平成 29年)	理事長：久田健一郎 (～6月30日) 理事長：川村教一 (7月1日～) 経費自己負担率10%に (最終的には30%まで増加) 消費税課税事業者になる	3月12日-14日 本選 3月14日・15日 代表選抜 5月・8月 合宿研修 (秩父・筑波大学) 8月22日-29日 <u>第11回国際地学オリンピック フランス大会</u> 12月17日 第10回日本地学オリンピック予選	29か国・地域 108名参加 日本の成績：金1、銀2、銅1	本選表彰を優秀賞10名→金・銀・銅賞各10名に 応募者2211名、受験者1903名 (大会最大値) 7/05～06：平成29年7月九州北部豪雨、死者37、行不2
2018年 (平成 30年)	日本科学オリンピック委員会設立 理事長：川村教一 経費自己負担率20%	3月11日-13日 本選 3月13日・14日 代表選抜 5月・7月 合宿研修 (秩父・筑波大学) 8月8日-17日 <u>第12回国際地学オリンピック タイ大会</u>	38か国・地域 139名参加 日本の成績：金3、銀1	

年	オリンピック委員会	国内・国際大会	日本主催大会関連／国際大会結果	その他
		12月16日 第11回日本地学オリンピック予選		
2019年 (平成31年／令和元年)	理事長：川村教一 経費自己負担率30%	3月10日-12日 本選 3月12日・13日 代表選抜 6月・7月 合宿研修(秩父・筑波大学) 8月26日-9月3日 <u>第13回国際地学オリンピック韓国大会</u> 12月15日 第12回日本地学オリンピック予選	43か国・地域163名参加 日本の成績：金4(科学オリンピック全体で初の快挙)	10/11～12：令和元年台風19号、死者99、行不3
2020年 (令和2年)	理事長：川村教一 事務局長：瀧上豊 (事務局開設時～3月31日) 事務局長：澤口隆 (4月1日～現在)	3月 日本地学オリンピック本選→中止 8月予定 <u>第14回国際地学オリンピックロシア大会</u> →中止 12月20日 第13回日本地学オリンピック一次予選	*2月頃からのCovid2019の世界的流行のため国内本選・国際大会ともに中止。	筑波研修センター閉館→新会場探し 予選を2段階制に。一次はオンライン実施 7/03～31：令和2年7月豪雨、死者84、行不2
2021年 (令和3年)	理事長：川村教一	3月 国際大会三次選抜(本選)全国9会場にての筆記試験のみで実施 6月・7月 合宿研修(秩父・つくば) 8月25日-30日 <u>第14回国際地学オリンピック(オンライン大会)</u> →日本チームはつくば市(ホテル東光)から参加 12月19日 第14回日本地学オリンピック一次予選	34か国・地域185名参加 日本の成績：金1、銀2、銅1	Covid2019のため本選の対面開催は見送り。 国際大会もオンラインにて実施。
2022年 (令和4年)	理事長：川村教一 (～8月) 理事長：小川康雄 (8月～) GeoSciEdIXを日本地学教育学会と合同開催(8月21日-24日)	1月23日 国内大会二次予選(全国指定会場) 3月 本選 つくば市にて開催 5月・7月 合宿研修(秩父・伊豆) 8月25日-31日 <u>第15回国際地学オリンピック(オンライン大会)</u> →日本チームはつくば市から参加 12月18日 第15回日本地学オリンピック一次予選	34か国・地域204名参加 日本の成績：金1、銀2、銅1	今回より本選主会場としてホテル東光を使用

年	オリンピック委員会	国内・国際大会	日本主催大会関連／国際大会結果	その他
2023年 (令和5年)	理事長：小川康雄	<p>1月22日 国内大会二次予選（全国指定会場）</p> <p>3月12日-14日 国内大会本選（つくば市） →女子枠利用にて2名が追加参加</p> <p>3月14日 代表選抜（つくば市）</p> <p>5月・7月 合宿研修（秩父・伊豆）</p> <p>8月20日-26日 <u>第16回国際地学オリンピック（オンライン大会）</u></p> <p>8月31日-9月3日 台湾・韓国・日本による第1回地学フェスティバル（ESF）実施（会場：福岡・熊本）。主催：JESO</p> <p>12月17日（予定） 第16回日本地学オリンピック一次予選</p>	<p>32か国・地域172名参加 日本の成績：銀4</p> <p>日本の呼びかけで初開催。来年は5月に台湾で開催予定。</p>	<p>本選に女子枠を設定</p> <p>他の科学オリンピックは対面開催するも、地学はオンラインにて実施</p>